Windows Server® 2003 ついにサポート終了

古いOSからの脱出

Windows Server® 2003/2003 R2　移行ガイド 第2版

もう対策は済んでいますか?
まだの方必見! まず最初にお読みください。

Microsoft

hp

Windows Server® 2012 R2への乗り換えのご相談はこちら

HP販売パートナーのご確認はこちら
カスタマー・インフォメーションセンター
03-5749-8330
月～金　9:00 ～ 19:00
土 10:00 ～ 17:00（日、祝日、年末年始および5/1を除く）

HPオンラインショッピングはこちら
HP Directplus
www.hp.com/jp/directplus

日本HPの製品全般に関する製品情報提供の窓口　**カスタマー・インフォメーションセンター**

0120-436-555（携帯電話・PHS）03-5749-8291
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日 10:00～17:00
（日曜日、祝日、年末年始、および5月1日 お休み）

最新情報

ホームページ		www.hp.com/jp
カタログライブラリ	Yahoo！ /Google で「HP カタログ」を検索！ HPカタログ 検索	www.hp.com/jp/catalog
HP ProLiant サーバー製品		www.hp.com/jp/proliant
Windows Server 製品		www.hp.com/go/wincert

⚠ 安全に関するご注意　ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。
記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
記載事項は2014年4月現在のものです。
本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。
© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company,L.P.

VEGETABLE OIL INK

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

JPC13228-02

hp

Microsoft Windows xp Professional

2001 — 2003 — 2014 — 2015

Microsoft Windows Server 2003

2014.04.08(US時間)
Windows® XP 延長サポート終了

Windows Server® 2003 延長サポート終了

2015.07.14 (US時間)

Windows Server® 2003/2003 R2のサポートが2015年7月に終了します。サーバー OSの入替えをしましょう。

“今からの移行検討”が必須です。

サーバー OSの移行はクライアントOS以上に時間がかかります。

延長サポート終了まで、あとわずか —— 2014年4月1日から

残り 469 日・314 営業日

※土日祝日および12/29 ～ 1/3を休日とした場合

移行計画	予算確保	発注	構築・導入	動作確認	パイロット	予備期間	サポート終了

サポート終了のOSを使い続けると……

危険 ウィルス感染を避けられない

セキュリティ更新プログラムが提供されなくなります。ウィルス感染を避けられなくなり、情報漏洩やシステムダウン等、最悪の事態となる可能性があります。

危険 問題発生にも対応できない

電話やメールの情報提供も終了し、障害発生時の対応が困難になります。問題が発生しても、マイクロソフトからそれに対する修正プログラムは提供されません。

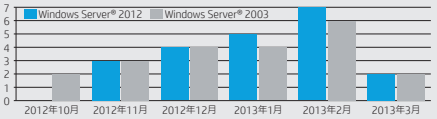
危険 古いハードウェアの維持が難しい

古いハードウェアを使い続けることは効率が悪くなる一方です。
運用にかける手間や性能、消費電力、サポート等、“損失”が増えることになります。

そんなにセキュリティリスクがあるの?

Windows Server® 2003に影響する脆弱性は少なくなる傾向はなく、現在でもほぼ毎月のペースで更新プログラムはリリースされています。
これがなくなった際のリスクは非常に高いと想像できます。

2012年10月～ 2013年3月のセキュリティ更新プログラム数



出典: 日本マイクロソフト「Windows Server® 2012 マイグレーションガイド」

移行は最新サーバー OSのWindows Server® 2012 R2と、HP ProLiantサーバーの組み合わせがおススメです。

その理由をここからご説明していきましょう。

Windows Server 2012 P.4 ～

HP ProLiant サーバー Gen8 P.6 ～

Windows Server 2012

Windows Server® 2012 R2は こんなに進化している

最新バージョンのWindows Server® 2012 R2は、Windows Server® 2003/2003 R2から大幅に進化しました。
仮想化や管理機能、クラウドへの最適化等、数多くの機能が強化されています。

Windows Server 2012

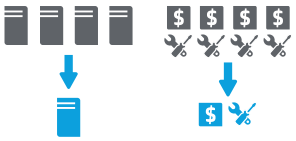
安心　楽チン　イザ

長期サポート

Windows Server® 2012 R2に今移行すればこれから10年近くサポート対象となります。

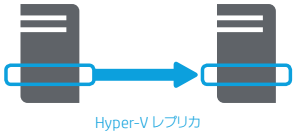
サーバー集約

仮想化機能で、複数台のサーバーを1台に集約。管理もコストも楽チンになります。



災害対策

Hyper-V レプリカ機能を使えば、簡単に災害対策も可能になります。



Windows Server® 2012 R2 製品 エディションは4種類から選びます。

	小規模ビジネスに		あらゆる規模のビジネスに	
	Windows Server® **2012 R2 Foundation**	Windows Server® **2012 R2 Essentials**	Windows Server® **2012 R2 Standard**	Windows Server® **2012 R2 Datacenter**
導入用途	経済的で多目的	クラウドと共に活用するファーストサーバー	低い集約率の仮想化環境	高い集約率の仮想化環境
仮想化権限	なし	あり（Essentialsのみ）	あり	あり
実行可能仮想インスタンス数	–	–	2インスタンス ※2CPU毎	無制限 ※2CPU毎
機能制限	・最大15ユーザーまで ・最大１つの物理ソケット	・最大25ユーザーまで ・最大2個の物理ソケット	なし （すべての機能を搭載）	なし （すべての機能を搭載）

お役立ち情報① マイクロソフト サーバー製品サポートライフサイクル

Windows Server® 2003/2003 R2と併せて、SharePoint ServerやExchange Server等をご利用されている方は必見です。

マイクロソフト サーバー製品サポートライフサイクル

■…メインストリーム　■…延長サポート

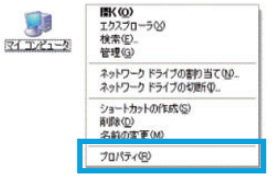
	発表日	メインストリーム	延長サポート
Windows Server®			
Windows Server® 2003	**2003年5月28日**	**2010年7月13日**	**2015年7月14日**
Windows Server® 2003 R2	**2006年3月5日**	**2010年7月13日**	**2015年7月14日**
Windows Server® 2008	2008年5月6日	2015年1月13日	2020年1月14日
Windows Server® 2008 R2	2009年10月22日	2015年1月13日	2020年1月14日
Windows Server® 2012	2012年10月30日	2018年1月9日	2023年1月10日
Windows Server® 2012 R2	2013年11月25日	2018年1月9日	2023年1月10日
Exchange Server			
Exchange Server 2007	2007年3月8日	2012年4月10日	2017年4月11日
Exchange Server 2010	2009年11月9日	2015年1月13日	2020年1月14日
Exchange Server 2013	2013年1月9日	2018年4月10日	2023年4月11日
SharePoint Server			
SharePoint Server 2007	2007年1月27日	2012年10月9日	2017年10月10日
SharePoint Server 2010	2010年7月15日	2015年10月13日	2020年10月13日
SharePoint Server 2013	2013年1月9日	2018年4月10日	2023年4月11日
FAST Search Server 2010 for SharePoint	2010年6月16日	2015年10月13日	2020年10月13日
SQL Server			
SQL Server 2005 Express Edition	2006年6月1日	2011年4月12日	2016年4月12日
SQL Server 2005	2006年1月14日	2011年4月12日	2016年4月12日
SQL Server 2008 Express	2008年11月11日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2008	2008年11月7日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2008 R2 / Express	2010年7月20日	2014年7月8日	2019年7月9日
SQL Server 2012 Express	2012年5月20日	2017年7月11日	2022年7月12日
SQL Server 2012	2012年5月20日	2017年7月11日	2022年7月12日

※Windows Server® 2003 Itanium版の発売日は、2003年6月19日です。※発売時期は2014年1月時点での予測であり、変更される可能性があります。※2014年1月時点での情報に基づき作成しておりますが、サポート期間等は変更になる可能性があります。※最新の情報はhttp://support.microsoft.com/lifecycle/ で確認できます。

お役立ち情報② ご利用中のWindows Server®のバージョンの確認方法

マイコンピュータのプロパティ画面を表示させることで、ご使用中のバージョンが確認できます。

①デスクトップ上の「マイコンピュータ」のアイコンを右クリック。
②表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。
③「全般」のタブを表示。



Windows Server® 2003/2003 R2の表示がされたら、移行をお考えください。

Windows Server 2012

移行はハードウェアと一緒に!!
HPのサーバーも
さらに進化しています

HPの最新サーバーは特長いっぱい!
おススメの理由をご紹介!

選べる
豊富なラインアップから
最適なモデルを選べる。
P.11

安心
HPのOEM版Windows Server®
なら特典いろいろ。
本頁

楽チン
セットアップや
更新・設定も簡単。
P.7 自動化

イザ
障害を検知し自動通報する
機能を搭載。
P.7 自動化

仮想化
災害対策や
サーバー集約向けに
仮想化で選ぶならHPが最適。
P.9

速い
各社最新モデルの中で
最も処理が速い。
P.9

Windows Server® はHP OEM版をおススメ

HP OEM版Windows Server® には
様々な特典があります

1. 90日無償初期セットアップサポート付
2. サーバーとOSを一緒に発注できて便利
3. サーバーとOSを一括サポートで安心

オンラインショップでも購入できます
HPのオンラインショップでは、
プリインストールモデルやバンドルパッケージをご用意。
www.hp.com/jp/directplus

サーバー運用の常識を変える“自働サーバー”

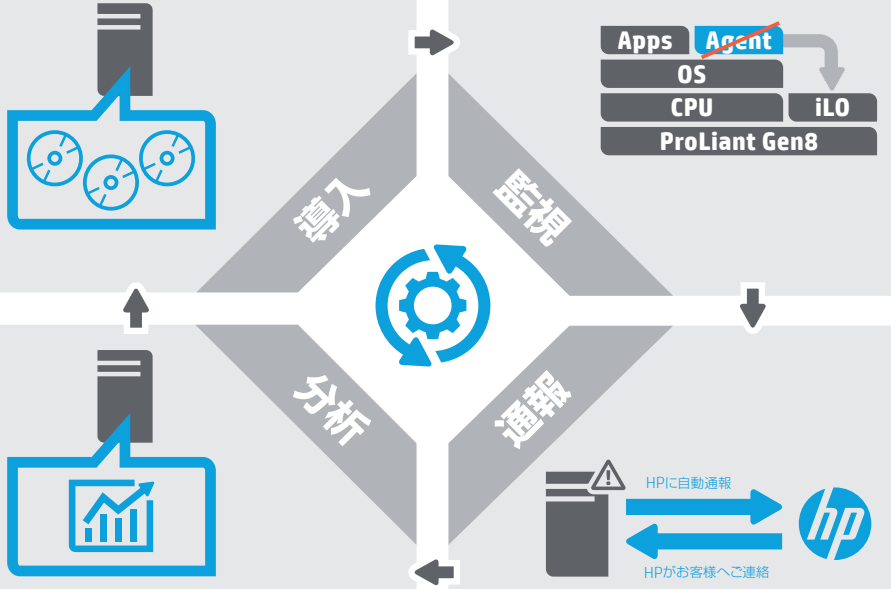
最新のHP ProLiant サーバーでは、「iLo」という独立したチップで、従来のリモート管理、電力管理に加えてライフサイクル全般管理を実現しています。

初期設定はボタン1つ

セットアップもCDやDVD不要。F10キー 1つでインストールからファームウェア更新まで実施可能。

監視の新しいカタチ

OSからも独立したiLoから監視を行うので、システムへの負荷もなく、電源投入時点から監視が可能。



自動でログを収集し続ける

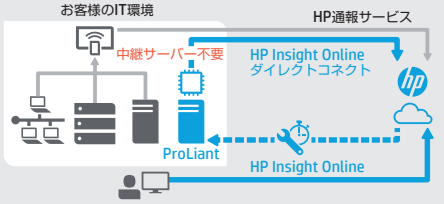
内部の1,600以上の各種パラメーターをフライトレコーダーのように絶え間なくロギングし、障害前後の状況把握から原因特定までを強力に支援。

サーバー自体が自動通報

潜在的な問題があればHPがお客様へご連絡し、重大なシステムダウンを未然に防止したり、短時間での問題解決に活躍。

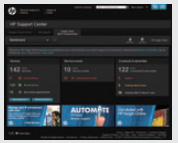
「HP Insight Online ダイレクトコネクト」開始

中継サーバー不要でiLOポートから障害通知「HP通報サービス」を実現しました。
※iLO 4(ver1.40)利用



お客様専用のクラウドポータル

「HP Insight Online」で、システム構成情報、コール対応履歴、保証や保守状況などの情報をどこからでも閲覧でき、サービスマンとも情報共有できます。



お役立ち情報③

古いサーバーとの比較

もちろん物理的なスペックもあがっています!
古いサーバーと最新のサーバーを比較すると、性能は大幅に向上し、消費電力は大幅に削減できます。

HP ProLiant サーバー
DL380 G5
（2010年販売終了）
OLD

NEW HP ProLiant サーバー
DL380p Gen8

所要転送時間は半分以下

約3時間
（10,735秒）

性能

約1時間
（3,780秒）

出典: 日本仮想化技術株式会社「ファイルサーバーベンチマーク検証結果報告書」
40Kの場合のベンチマーク結果です。詳細は以下のPDFをご閲覧ください。
http://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/os/win_support/pdfs/benchmark.pdf

消費電力は35%削減

518W

電力

339W

DL380 G5の消費電力は32GB構成時で算出したものです。

DL380p Gen8の消費電力はプロセッサー×2、標準搭載と同種のメモリ×8、SAS 300GB 10krpm HDD×8台、標準搭載のHP FlexibleLOMアダプター、PCI Express I/Oカード×1、電源2個の構成時で算出したものです。

スペックが向上しているから仮想化で古いサーバー 4台を1台に集約することも可能に!※

これで電力も設置場所も保守費用も抑えられます。

※「SAP SD Standard Application Benchmark Results Two-Tier Internet Configuration（2014年2月20日現在）」のベンチマーク結果に基づき算出したもので、実際の移行時の台数を保証するものではありません。なお、ベンチマーク結果のAvg. dialog response time (sec)の前提は次の通りです。●HP ProLiant BL460c G5 + Windows Server® 2003 + SAP ERP6.0:2sec　●HP ProLiant BL460c Gen8 + Windows Server® 2012 + SAP ERP6.0 EHP5:1sec

これ以外にも、独自の省電力機能満載

- 筐体内に大量のセンサーを設置し、必要な場所だけ冷却
- 高変換効率のパワーサプライ（最高:「80PLUS」チタン（Titanium））を取得
- 消費電力の上限が設定できる機能も

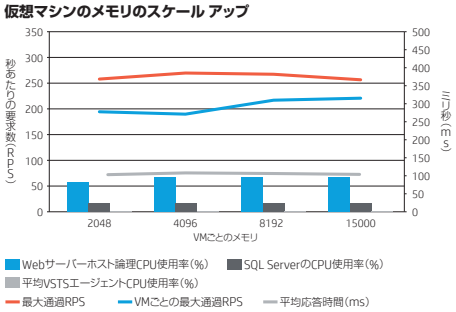
まだまだあるHPサーバーの強み

HPとマイクロソフトは、業界唯一のフロントライン・パートナーシップを結び、20年以上も非常に密接な協力関係の元でOSやアプリケーションの技術共同開発、マーケティング、販売活動など実施しています。

Microsoft　hp　innovation² frontline partnership

Windows Server®はHPのサーバーで開発

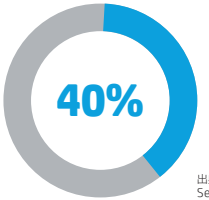
Windows Server®やHyper-V、SQL Server等は、HPのサーバー上で開発されています。そのため、HPはWindows Server®のデバイスドライバーの共同開発や早期リリースができ、マイクロソフト認定機種が豊富にご用意できているのです。



出典: TechNet「Hyper-V のパフォーマンス テスト（SharePoint Foundation 2010）」

仮想化で選ぶならHP

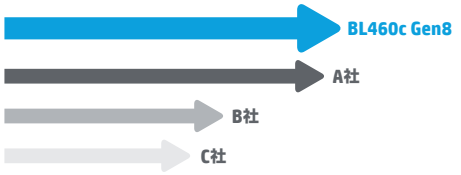
2011年から2013年Q2の期間、マイクロソフトの仮想化「Hyper-V」採用サーバー出荷台数の40%がHPのサーバーでした。



出典:　IDC Worldwide Quarterly
Server Virtualization Tracker Q2 2013

とにかく速い

各社の最新のサーバーの中でも、とにかく速いのがHP。たとえば、SAP SDベンチマーク結果では、同レベルのサーバーの中で最も速い数値を記録しました。



出典: SAP SDベンチマーク結果（2ソケットブレードサーバー）　2013年9月現在

東京生産“MADE IN TOKYO”

PCやWorkstation同様、HPのサーバーは「東京生産」にこだわって提供しています。それにより、日本のお客様の要求に応えうる、高品質な製品をスピーディにお届けできます。お客様からのフィードバックに素早い対応ができるといったメリットをフルに活かし、さらなる品質の向上にも繋げています。

MADE IN TOKYO

サーバー選定ガイド

サーバー選定の一例をご用意しました。どのサーバーを選べばいいか、用途に応じて簡単にご紹介します。
さらに詳しい情報は、右記のWEBをご覧ください。 **www.hp.com/jp/Ippatsu**

	性能重視	バランス重視	コストパフォーマンス重視
Webサーバーに	• 400人以上の規模 • 社外から大量のアクセスを想定。 • 大規模なWebサービスの構築が必要。 HP ProLiant BL460c/BL465c	• 30人以上400人未満の規模 • 低コストで、必要な性能を確保したい。 • 信頼性、管理性を重視。 • 将来のアクセス増への柔軟な対応。 HP ProLiant ML350p　HP ProLiant DL160 /DL360p　HP ProLiant BL460c/BL465c	• 30人未満の規模 • 小規模に、低コストで構築したい。 • 管理機能を重視。 HP ProLiant ML310e v2/ML350e v2　HP ProLiant DL320e/DL320e v2/DL360e
メールサーバーに	• 200人以上の規模 • 高い信頼性と管理性を重視。 • より大容量のディスク領域を搭載したい。 • より高いパフォーマンス、信頼性を実現したい。 HP ProLiant ML350p　HP ProLiant DL380p /DL385p/DL560/DL580/DL585	• 30人以上200人未満の規模 • コストパフォーマンス重視で構築したい。 • 高い信頼性と管理性を重視。 HP ProLiant ML350e v2　HP ProLiant DL160/DL360e/DL360p	• 30人未満の規模 • 小規模に、低コストで構築したい。 • 将来のユーザー増を見込み、管理性を重視。 HP ProLiant ML310e v2　HP ProLiant DL320e/DL320e v2/DL360e
ファイルサーバーに	• 400人以上の規模 • 拡張性、信頼性、管理性、性能が必要。 • 今後のストレージ増強を見据えている。 • HAクラスター構成による継続性を確保。 HP ProLiant ML350p　HP ProLiant DL380p/DL385p	• 30人以上400人未満の規模 • 拡張性、信頼性、管理性、性能が必要。 • 導入価格も重視。 HP ProLiant ML350e v2　HP ProLiant DL360e/DL360p /DL380e/DL380p/DL385p	• 30人未満の規模 • 初期導入費を抑え、手軽に導入したい。 HP ProLiant MicroServer　HP ProLiant ML310e v2　HP ProLiant DL320e/DL320e v2/DL360e

仮想化をご検討のお客様

	サーバー3台以下	サーバー4台以上	大規模リソースプール化
開発や検証環境に	• 2基のCPU搭載 • 内蔵ストレージを多く搭載可能 HP ProLiant ML350e v2　HP ProLiant DL360e		• 様々なシステムへのリソース割り当てを実現 • 導入コストを低減 • 外部ストレージを利用したクラスター構成 HP ProLiant BL460c　HP ProLiant BL620c　HP ProLiant BL660c
社内/社外 サービス用 システムに	• 2基のCPU搭載 • 外部ストレージを利用したクラスター構成 HP ProLiant DL380p/DL385p	• 導入コストを低減 • 外部ストレージを利用したクラスター構成 • ホットプラグディスク対応 HP ProLiant BL420c　HP ProLiant BL460c/BL465c	 HP ProLiant BL680c　HP ProLiant BL685c
プライベート クラウド基盤に			• 需要に合わせた自動的なシステム配備を実現 HP CloudSystem Matrix

Windows Server® 2012 R2への乗り換えのご相談はこちら

HP販売パートナーのご確認はこちら
カスタマー・インフォメーションセンター
03-5749-8330
月～金 9:00 ～ 19:00　土 10:00 ～ 17:00（日、祝日、年末年始および5/1を除く）

HPオンラインショッピングはこちら
HP Directplus
www.hp.com/jp/directplus

HP ProLiant サーバー 仕様早見表

	製品名	世代	製品外観	ラック搭載時	プロセッサー	ソケット数	メモリ ソケット数	メモリ 冗長化	ドライブベイ (2.5型(最小)ベイ数(最大))	ドライブベイ (3.5型(最小)ベイ数(最大))	ドライブベイ ホットプラグ	対応ドライブ SAS HDD	対応ドライブ SATA HDD	対応ドライブ SAS SSD	対応ドライブ SATA SSD	パワーサプライ 冗長化	パワーサプライ ホットプラグ対応	冷却ファン 冗長化	冷却ファン ホットプラグ対応	オンボード管理機能 iLO3	オンボード管理機能 iLO4	オンボード管理機能 Lights-Out 100	オンボード管理機能 Systems Insight Display	拡張管理機能 HP SIM、HP Insight Control	拡張管理機能 HP搭載サービス	拡張管理機能 HP Insight Online	標準保証※5 オンサイト	標準保証※5 パーツ交換
タワー型	Micro Server	–		–	AMD	1P	2			4/4			○										※1				1年	1年
	Micro Server	Gen8		–	Intel	1P	2			4/4			○								○				○	○	○	1年	1年
	ML310e v2	Gen8		5U	Intel	1P	4		8※4/8※7	4/4	○※7	○	○	○※7	○※7	○※7	○※7				○				○	○	○	3年	3年
	ML350e	Gen8		5U	Intel	2P	12	○	8※4/24※6	4/18	○※2	○※2	○		○※2	○※7	○※7	○			○				○	○	○	3年	3年
	ML350e v2	Gen8		6U	Intel	2P	12	○	8/16	4/8	○※2	○※2	○		○※2	○※7	○※7				○				○	○	○	3年	3年
	ML350p	Gen8		5U	Intel	2P	24	○	8/24	6/18	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○		○			○※6	○	○	○	3年	3年
	DL160	Gen8		1U	Intel	2P	24		8/8	4/4	○	○	○	○※2	○			○			○				○	○	○	1年	3年
	DL320e	Gen8		1U	Intel	1P	4		8※4/8※6	4/4	○※2	○※2	○	○※2※6	○※2	○※2	○※2				○				○	○	○	3年	3年
	DL320e v2	Gen8		1U	Intel	1P	4		4/4	2/2	○※2	○※2	○	○※2	○※2						○				○	○	○	3年	3年
	DL360e	Gen8		1U	Intel	2P	12	○	8/8	4/4	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○		○				○	○	○	3年	3年
	DL360p	Gen8		1U	Intel	2P	24	○	8/10	4※4/4※6	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○	3年	3年
	DL380e	Gen8		2U	Intel	2P	12	○	8/27	4/14	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○		○				○	○	○	3年	3年
	DL380p	Gen8		2U	Intel	2P	24	○	8/25※5	8※5/12※6	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○		○		○※2		○	○	○	3年	3年
	DL385p	Gen8		2U	AMD	2P	24		8/25	8※4/12	○	○	○	○※2	○	○	○	○	○		○		○※2		○	○	○	3年	3年
	DL560	Gen8		2U	Intel	4P	48	○	5/5		○	○		○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○	3年	3年
	DL580	Gen8		4U	Intel	4P	96	○	5/10		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○	3年	3年
	DL580	G7		4U	Intel	4P	64	○	8/8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	3年	3年
	DL585	G7		4U	AMD	4P	48	○	8/8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	3年	3年
	DL980	G7		8U	Intel	8P	128	○	8/8		○	○		○		○	○	○	○	○			○		○	○	○	3年	3年
ラックマウント型	SL2500	Gen8		2U*	Intel	2P	24		6※3/6※9	3※3/3※9	○	○	○	○	○	○	○				○				○	※8	※8	3年	3年
	SL4540 (SL4500)	Gen8		1.4U～4.3U*	Intel	2P	12※3	○		60※3/60※3	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○	※8	※8	3年	3年
	SL230s (SL6500)	Gen8		0.5U*	Intel	2P	16※3		2※3/4※9	2※3/2※9	○※7	○	○	○	○	○	○	○※2	○		○				○	○	○	3年	3年
	SL250s (SL6500)	Gen8		1U*	Intel	2P	16※3		4※3/4※9		○	○	○	○	○	○	○	○※2	○		○				○	○	○	3年	3年
	SL270s (SL6500)	Gen8		2U*	Intel	2P	16※3		8※3/8※9		○	○	○	○	○	○	○	○※2	○		○				○	※8	※8	3年	3年
ブレード型	BL420c	Gen8		0.6U*	Intel	2P	12	○	2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3		○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL460c	Gen8		0.6U*	Intel	2P	16	○	2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3		○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL465c	Gen8		0.6U*	AMD	2P	16		2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3		○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL620c	G7		1.25U*	Intel	2P	32	○	2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○			○※4	○	○	○	3年	3年
	BL660c	Gen8		1.25U*	Intel	4P	32	○	2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3		○		○※4	○	○	○	3年	3年
	BL680c	G7		2.5U*	Intel	4P	64	○	4/4		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○			○※4	○	○	○	3年	3年
	BL685c	G7		1.25U*	AMD	4P	32		2/2		○	○	○	○	○	○	○※3	○※3	○※3	○※3	○			○※4	○	○	○	3年	3年

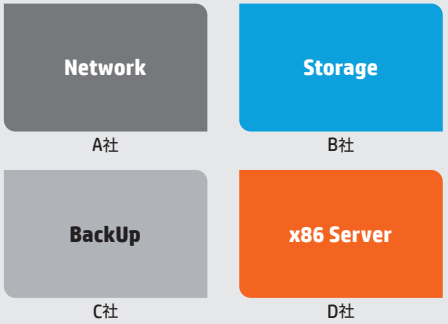
※1 オプションのリモートアクセスカードキットで対応　※2 一部モデルで対応　※3 ブレード エンクロージャー側に装着します。ホットプラグ対応　※4 ブレード エンクロージャーにInsight Displayが搭載されています。　※5 SATA HDDの標準保証は本体の保証期間にかかわらず1年間となります。その他のオプションの標準保証についてはwww.hp.com/jp/support/warranty_serverにてご確認ください。　※6 CTOのみ　※7 オプションで対応　※8 対応予定　※9 1ノードあたりのスペック　*シャーシ/エンクロージャーに収容するタイプの製品は、ノードあたりの大きさ（HP BladeSystemはc7000搭載時）

HPならできる。
組み合わせでより安心の提案

メーカー統一により、安心の接続性とサポート窓口の一括化が可能に。

他社だと

- 1社のサポート範囲が限定的
- ばらばらの運用形態
- 接続性の担保が必要



HPなら

- **全製品メーカー統一可能**
- **幅広い接続性実証済み構成で検証工数削減**
- **一括サポートで切り分けも安心、たらい回しなし**
- **自動通報サービスなどの利用で運用性向上**※

※対応していないモデルもあります。

サーバー

自動通報サービス

ストレージ / バックアップ

ネットワーク

快適さを求めるなら、ネットワークスイッチの見直しも重要です

HPは2014年10G BASE-Tを推進

大量のデータが行き来するのが当然の昨今では、ネットワーク帯域を増強しておく必要があります。

ここをチェック

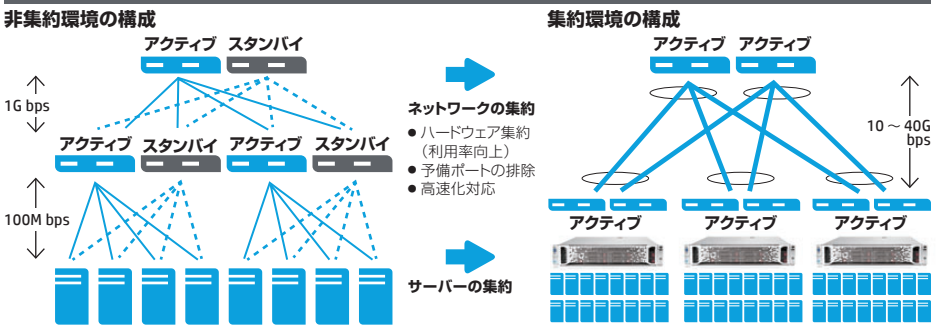
- **コストを抑えて10Gイーサネットを導入する**
- **低消費電力のスイッチを選ぶ**
- **予備ポートを排除する**
- **高速化ネットワークを構築する**

RJ-45ケーブルにすれば、コストも距離も二重丸

※価格は参考です。

光ケーブル（10G BASE-SR/LR）	トランシーバー 20万円 ＋ 光ケーブル 3万円 ＋ トランシーバー 20万円	430,000円	コスト: △ 距　離: ○ ～300m 相　性: ○
DAC ケーブル（10G SFP+）	ケーブル 3万円	90% 30,000円	コスト: ○ 距　離: △ ～7m 相　性: △ 相性問題が存在
RJ-45 ケーブル（10G BASE-T）	$ 1万円	66% 10,000円	コスト: ○ 距　離: ○ ～100m 相　性: ○

10G BASE-Tで10G接続コストが66%低減



高速かつ冗長化を考慮した、「切れない」快適ネットワーク環境が必要

HPのネットワーク製品は「ライフタイム保証」

HPネットワーク製品は、HPの誇る高い品質と信頼性に基づき、業界をリードし比類のない「真のライフタイム保証」を提供しています。

対象製品は、HPのホームページでご確認ください。

- ライフタイム保証はHPネットワーク製品に付随する製品保証で、保有されている限り故障時の無償交換サービスを行います。
- 故障時には、交換製品の先送りを行います。
- 部品交換費用が一切かからないため、総所有コスト（TCO）も大幅に削減可能です。

Windows Server 2012

この機会にストレージ&バックアップ環境も整えましょう

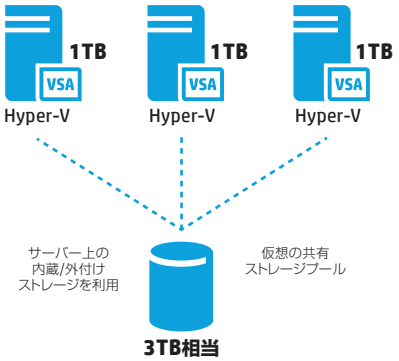
共有ストレージで可用性を向上

サーバーの集約はできても、データは増える一方! だから共有ストレージの導入も考えましょう。

ここをチェック

- 手軽に導入できる
- サーバー内のストレージでもできる
- 障害対策や災害対策も一緒に行う
- いずれは高性能な製品へ手軽に移行できる

HPのiSCSIディスクストレージのソフトウェア版 HP StoreVirtual VSAなら実現デキル!!



専用ストレージ機器不要

HP StoreVirtual VSAは、HP ProLiantサーバーの仮想化環境上にインストールするソフトウェア。
これでストレージ筐体を持たずとも、サーバーに高機能共有ストレージ機能を持たせることができます。

手軽にスタート可能

これで足りなくなったら、アプライアンス製品の「HP StoreVirtual」へ移行可能。

1TBライセンス(3年間)を無償提供中

キャンペーン実施中

新規にHP ProLiant Gen8サーバーの対象モデルを購入したお客様向けに、HP StoreVirtual VSAの1TB(3年間)ライセンスを無償で提供するプログラム「Unlock VSA」を実施中です。

サーバー内のストレージや外付けのストレージを活用して、スケールアウトクラスターやシンプロビジョニングなど高機能な共有ストレージが利用できますので、是非この機会に世界で累計175,000以上の配布実績のあるHP StoreVirtual VSAをご活用ください。

対象製品

- BL420c Gen8、BL460c Gen8、BL465c Gen8、BL660c Gen8
- ML350p Gen8
- DL320e Gen8 v2、DL360p Gen8、DL380p Gen8、DL385p Gen8、DL560 Gen8
- WS460c Gen8

ディスクバックアップでバックアップスピードを向上

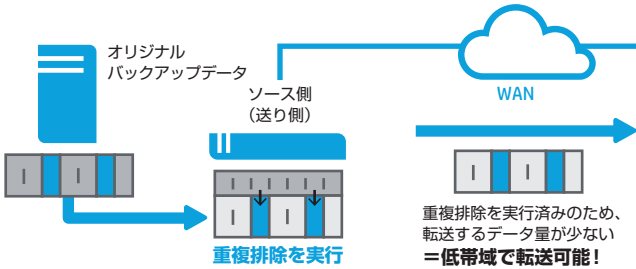
最も重要なデータ保護。バックアップを疎かにしていませんか? この機会に必ず見直しを!

ここをチェック

- 複数サーバーのバックアップを集約/統合してバックアップスピード向上、運用効率向上
- テープカートリッジ交換不要
- ファイル単位のリストアを高速化できる
- データを容易かつ低コストで遠隔地に待避できる

HPのディスクバックアップシステム HP StoreOnceなら実現デキル!!

重複排除済みデータをWAN経由で転送し災害対策を低コストで実現可能



低帯域レプリケーションライセンス

レプリケーションライセンスはターゲット(受取側)デバイスの分だけで OK!

サーバー仮想化環境での高可用クラスター構成

HPのバックアップ製品と共有ストレージ製品を組み合わせることで、迅速かつ低コストでシンプルな高可用クラスター構成ができます。

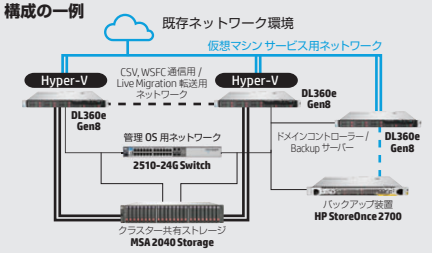
サービス開始の迅速化で競争力アップ
仮想化環境なので、物理サーバー調達のリードタイムなしで、サーバーのセットアップが迅速化します。

低コストで多くのサービス
サーバー仮想化のメリット以外にも、ストレージはオンラインで必要に応じて増強でき、重複排除バックアップで最大50%の容量を削減できます。

サービス停止リスクを回避
共有ストレージは主要部品が冗長化してますので、一部が壊れてもサービスは継続。さらに、HP通報サービスでシステムのトラブルを未然に防止。

シンプルな管理とサポート
サーバー、共有ストレージまでHPの管理ツールで統合監視。いつでもどこでも機器の情報を参照でき、窓口ひとつのワンストップサポート。

構成の一例



Windows Server 2012

マイクロソフト®提供
Windows Server® 2012 R2 マイグレーション ガイド

本ページの情報は、マイクロソフト提供の「Windows Server® 2012 R2 マイグレーション ガイド」からの転用です。
詳細はMicrosoft® サーバーマイグレーションサイトからガイドブックをダウンロードできます。

http://www.microsoft.com/ja-jp/server-cloud/local/products/windows-server-2012-r2/migration/

お役立ち情報④ Windows Server® 2012 R2への移行方法

Windows Server® 2012 R2への移行は、段階的に行うことが重要です。
マイクロソフトから提供されている移行ツールを活用することで、
Windows Server® 2003からの移行をスムーズに行える場合もあります。
ここでは、その具体的な方法をご紹介しましょう。

Case 1

移行ツールの活用

Windows Server®移行ツールや
Web Deploy 3.0を活用することで、
容易に移行できます。

P.17

サーバー選定:
ファイルサーバー向き

ファイルサーバーには、ドライブの
搭載数が多く、外部ストレージ接続
などの拡張性に優れたモデルがオ
ススメです。

P.17

Case 2

仮想化で継続利用

アプリケーションサーバーの仮想化
によって、最新ハードウェア上に
移行できます。

P.18

サーバー選定:
仮想化向き

プロセッサーコア数やメモリ最大容
量、ネットワーク帯域の幅広さが選
択のポイントとなります。

P.18

Case 3

段階的なアップグレード

Active Directoryを
再インストールできない場合、
段階的に移行することができます。

P.19

サーバー選定:
WEBサーバー向き

アクセス数増加に対応できる
柔軟な拡張性を備えた
モデルがオススメです。

P.19

仮想化で継続利用するP2Vとは?

複数台のサーバーを1台のサーバーに集約する仮想化機能を使って、古いサーバーを新しいハードウェア上に移行することができます。
古いサーバーを変換させ(P2V: Physical to Virtual)、Windows Server® 2012 R2の仮想サーバー上で、Windows Server® 2003を実行します。古いサーバーのアプリケーションをそのまま新しいハードウェアに移行するので、故障のリスクが軽減し性能も大幅に向上します。
ただし、仮想サーバーにはWindows Server® 2003を使っていますので、セキュリティ対策は別途行う必要があります。

お役立ち情報④ Windows Server® 2012 R2への移行方法

ファイルサーバーの移行

Windows Server® 2003のファイルサーバーをWindows Server® 2012 R2に移行する場合、
Windows Server®移行ツールを使用することで、
共有設定やセキュリティ設定、ユーザーデータファイルを容易に移行することができます。

〈1〉Windows Server® R2移行ツールをインストール

Windows Server® 2012ファイルサーバーで、[役割と機能の追加ウィザード]を使ってWindows Server® R2移行ツールをインストールします。

〈2〉移行元用の移行ツールを準備

Windows Server® 2012ファイルサーバーでコマンド プロンプトを開き、次のコマンド ラインを実行します。コマンド ラインにより、移行元のファイルサーバー用の移行ツールが指定したパスに準備されます。

C:¥Windows¥System32¥ServerMigrationTools フォルダーに移動してコマンド ラインを実行

```
SmigDeploy /package /architecture <x86 または amd64> /os <WS03> /path <移行ツールの保存先パス>
```

〈3〉移行ツールを移行元にコピー

保存先パスに準備された移行ツールをフォルダーごと移行元の Windows Server® 2003ファイルサーバーにコピーします。

移行ツールを実行するには、Windows PowerShell 2.0を移行元の Windows Server® 2003にインストールする必要があります。Windows PowerShell 2.0 は、次のURLからダウンロードできます。

▶**Windows Management Framework (Windows PowerShell 2.0、WinRM 2.0、および BITS 4.0)**
http://support.microsoft.com/kb/968929/ja

〈4〉移行元からデータを送信

Windows Server® 2003ファイルサーバーでフォルダーごとコピーした SmigDeploy.exeをオプションなしで実行すると、Windows PowerShellが表示されます。Windows PowerShellで、Send-SmigServerData コマンドレットを以下のようなオプション指定で実行します。パスワードのパラメーター指定では、任意のパスワードを入力します。

```
Send-SmigServerData -Include All -ComputerName "移行先サーバー名" -SourcePath "移行元ファイルサーバーの共有フォルダーのローカル パス" -DestinationPath "移行先ファイルサーバーの共有フォルダーのローカル パス" -Recurse
```

〈5〉移行先でデータを受信

Windows Server® 2003ファイルサーバーで[Windows Server®移行ツール]を表示して、Windows PowerShellで次のコマンドレットを実行します。また、Windows Server® 2012ファイルサーバーで入力したパスワードを入力します。

```
Receive-SmigServerData
```

〈6〉移行先で共有フォルダーが設定

Windows Server® 2003ファイルサーバーの共有設定とデータが、暗号化された状態で Windows Server® 2012ファイルサーバーに転送され、共有フォルダーが設定されます。

Windows Server 2012

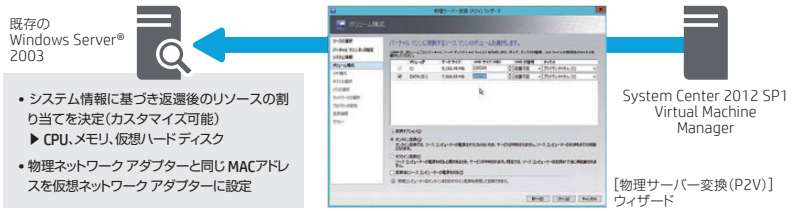
お役立ち情報④

Windows Server® 2012 R2への移行方法

アプリケーションサーバーの移行

Windows Server® 2012 R2のHyper-VとP2V（Physical to Virtual）変換ユーティリティを利用することで、Windows Server® 2003を実行するアプリケーションサーバーを老朽化したハードウェアから切り離し、最新ハードウェア上の仮想化環境に移行できます。

SCVMMを利用したP2V変換のシナリオ

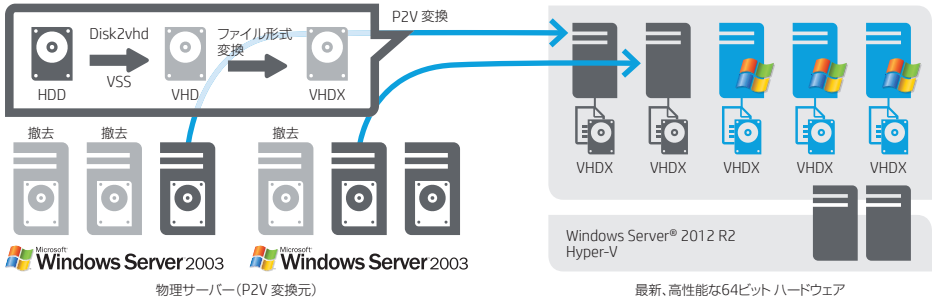


System Center 2012 SP1以前のVirtual Machine Managerは、ウィザード ベースで物理サーバーをオンラインのまま仮想化できる[物理サーバー変換（P2V） ウィザード]が提供されていました。この機能を利用してP2V 変換した仮想マシンを、更にWindows Server® 2012 R2のHyper-Vに移行することも可能です。

System Center 2012 SP1 Virtual Machine ManagerでP2Vを行う手順については以下をご確認下さい。
http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh427286.aspx

P2Vされた仮想マシンをWindows Server® 2012 R2にインポートする手順については以下をご確認下さい。
http://blogs.technet.com/b/scvmm/archive/2013/10/03/how-to-perform-a-p2v-in-a-scvmm-2012-r2-environment.aspx

Disk2vhdを利用したP2V変換のシナリオ



物理サーバー（P2V 変換元）

最新、高性能な64ビット ハードウェア

マイクロソフトが提供する無償ユーティリティである Disk2vhd でディスク イメージを VHD に直接変換して、仮想マシンに移行することも可能です。Windows XP SP2 以降および Windows Server 2003 SP1 以降を実行する物理コンピューターは、このツールを使用してディスク イメージをファイル化することで、Hyper-V の仮想マシンに移行できます。

Disk2vhd は無償配布のソフトウェアであるため、テクニカルサポートは提供されておりません。
http://technet.microsoft.com/ja-jp/sysinternals/ee656415.aspx

お役立ち情報④

Windows Server® 2012 R2への移行方法

Active Directory ドメイン コントローラーの移行

Windows Server® 2003からWindows Server® 2012への再インストール（インプレース アップグレード）を利用できない場合は、以下のステップによって段階的に Windows Server® 2012 R2のActive Directoryに移行することが可能です。

〈1〉既存のフォレスト/ドメインの機能レベルを昇格

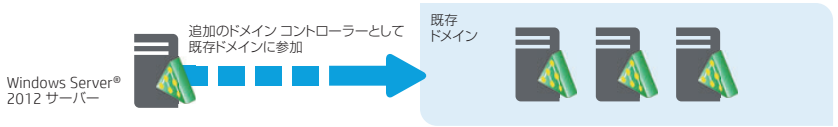
既存のフォレストおよびドメインの機能レベルを[Windows Server® 2003]以上に昇格します。

※すべてのドメイン コントローラーが Windows Server® 2003 以降を実行している必要があります。

〈2〉既存のドメインにWindows Server® 2012 R2を追加

既存のドメインに Windows Server® 2012のサーバーを追加し、既存のドメインの追加のドメインコントローラーとしてセットアップします。既存のフォレストおよびドメインが自動的にアップグレード用に準備されます。

※Adprep によるフォレストおよびドメインの準備操作は省略できます。



〈3〉すべての操作マスター（FSMO）の役割を転送

Windows Server® 2012のドメインコントローラーに、Windows Server® 2003のドメインコントローラーからすべての操作マスター（FSMO）の役割を転送します。

〈4〉ドメインコントローラーをメンバーサーバーに降格

Windows Server® 2003のドメインコントローラーをメンバー サーバーに降格します。フォレストおよびドメインのすべてのドメインコントローラーがWindows Server® 2012であることを確認して、フォレストおよびドメインの機能レベルを[Windows Server® 2012]に昇格します。

Windows Server 2012